

文教常任委員会行政視察（概要）

1 視察日

平成30年 5月16日（水）～17日（木）

2 視察項目（視察都市）

- ・ 島田市納骨堂について（静岡県島田市）
- ・ 地域未来塾ステップについて（愛知県豊橋市）
- ・ トヨッキースクールについて（愛知県豊橋市）

3 参加委員

委員長：小林美智子、副委員長：稲葉通宣

委 員：長谷川 浩、福丸孝之、山下慶喜、坂口康博

4 調査概要

島田市では、時代の流れによる世帯構成の変化、新興住宅地の増加によって、墓地に対する考え方の変化等のニーズに応じた公営墓地建設に着手された。建設に至るまでに、2度にわたり、市民のお墓に関する現状把握、意向調査、納骨堂併設の必要性等について市民アンケート調査を行われた。アンケートをもとに墓地及び納骨堂の建設の場所、規模、価格等の検討を行い、平成24年から墓地を、平成27年から納骨堂を開園し、運用をされている。

豊橋市では、生活困窮世帯及びひとり親家庭の中高生、また、不登校や家庭の事情により、家庭での学習が困難で、学習習慣が十分に身につけていない中高生を対象に大学生ボランティア等による学習支援事業「地域未来塾ステップ」を実施されている。また、総合的な放課後対策として、放課後児童クラブと連携したトヨッキースクールでは、総務省の事業であるプログラミング教室を市内企業と連携し、講座の中に取り入れて実施している。両事業とも直営で開始され、今後、委託方法について、検討し、事業を進めていく予定である。



5 委員長所感

島田市では、アンケートを通してお墓に対する市民の意識が変わってきていることを改めて認識されたとのことだった。本市では、用地の確保や墓地使用条例の整理など課題は多いと考えるが、現在の課題の洗い出しや市民の意識調査などについて検討する必要があるのではないかと感じた。

豊橋市では、生活困窮世帯及びひとり親家庭の中高生を対象に学習支援事業を展開されている。本市では、豊橋市のように高校生、さらには高校中退者などへの対象拡大も考える必要があるのではないかと考える。